

特集

**みんなでスリムヤン!
ごみの減量に取り組みましょう!**

ごみ減量対策課
(25) 8123



高島市ごみ減量キャラクター「スリムヤン」

毎日の生活のなかで、ごみは必ず出てきます。ごみはきちんと分別すれば資源として再利用できるものもあります。ごみ袋に入っているものも分別したり、ひと工夫したりすることで減らすことができます。

燃やせるごみの処理を民間処理業者に委託している今、もう一度ごみの出し方を見直しませんか?

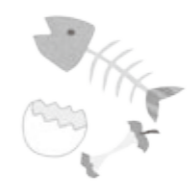
ごみ袋の中身は??

燃やせるごみの袋の中身は、生ごみが約45%を占めており、続いて紙類やプラスチック類が多くなっています。ごみの中には、水分を多く含む生ごみが入っていたり、分別をすれば資源になる紙ごみがあったりします。



牛乳パックや食品等の容器、チラシなど紙類が混入しているごみ袋

【生ごみ】
生ごみの約80%が水分と言われています。夏に向かってさらに水分を含む生ごみが増える傾向にあります。生ごみは、水分を減らすことで、ごみの減量につながります。



さまざまな方法から自分に合った生ごみの減量方法を見つけましょう。



水分を減らす方法

- ① 水分をしぼる
- ② 乾燥させる
- ③ 水に濡らさない

臭いも気になる生ごみですが、水分を減らすことで気になる臭いを防ぐことができます。※生ごみ処理機やコンポストを使い、その他の生ごみを出さない工夫もしましょう。

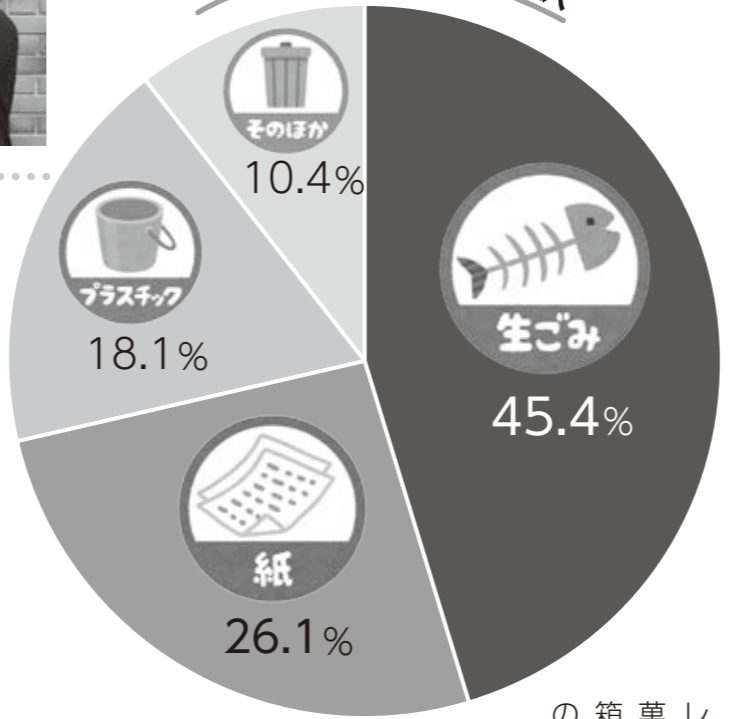
【紙類】

新聞や段ボールなどの紙ごみを燃やせるごみの袋に入れていませんか?
紙ごみの多くは資源としてリサイクルできます。捨てる前に確認して、分別しましょう。

リサイクルできる紙ごみ

- ▼新聞とチラシ
新聞配達で投函されたもの
- ▼ダンボール
断面が波状になっているもの
- ▼シュレッダー紙
細かく切断したもの
- ▼飲用紙パック
牛乳、ジュースのパックなど
- ▼その他古紙
雑誌、食品の容器の箱、パンフレット、書籍、図書、封筒、お菓子や調味料の箱、ティッシュの箱、トイレットペーパーやラップの芯など

燃やせるごみの内訳



(高島市組成分析調査結果より)

【プラスチック類】

プラスチック類の中でも市では、「プラスチックボトル」の分別収集を行っています。

プラスチックボトルの出し方

- ① プラスチックボトルに該当するかを確認
- ② キャップやポンプを外す
- ③ 中を水洗いする
- ④ プラスチックボトル収集専用の白色ネット袋に出す



プラボトルマークの表示があるジャンプの容器などが対象です。



水切り器を使ってみよう!

生ごみの水分を減らす方法は、生ごみ処理機の他にもあります。市の職員が2種類の水切り器を使って、生ごみの重量がどれだけ減るのかを体験してみました。

カラット

14.7%
減少



生ごみを新聞紙でくるんで入れ、風通しの良いところで半乾燥させます。

3月にカーポート内で使用しましたが、日差しの強い夏場は、より効果が期待できると思います。



クード

7.3%
減少



生ごみをプラスチックの板で挟んで水を切ります。

生ごみを捨てる前に挟んで水切りできるので、手もあまり汚れず簡単に水切りできました。



白色ネット袋は集落に順次設置しています。お近くの集積所がない場合は、支所などの拠点回収場所へ出して下さい。



ごみの減量で市を発展させましょう!

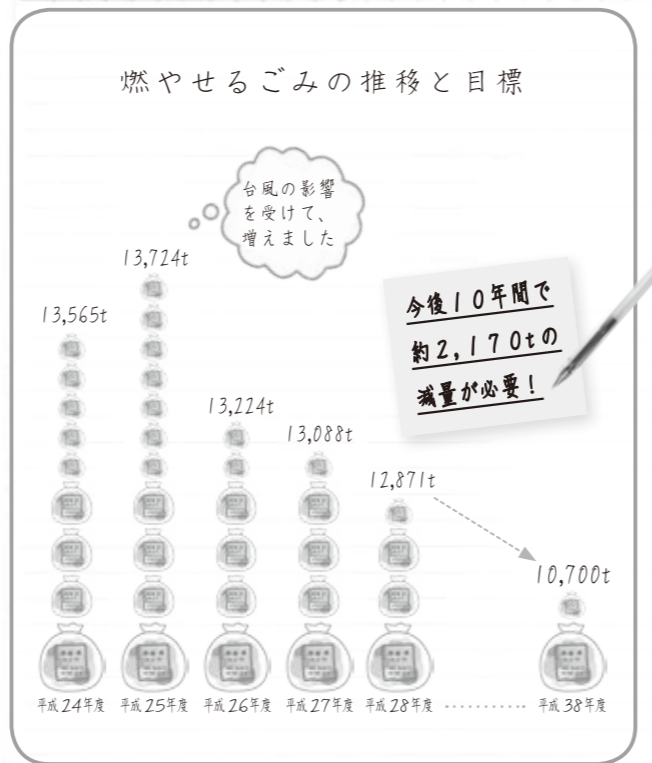
平成28年度のごみの総量は15,758tで、1人1日あたりのごみの量は863g、年間では1人あたり315kgにもなります。

平成28年度の燃やせるごみの量は、12,871tとなっていて、平成25年度以降減少傾向にあります。

市の計画では、新しいごみ処理施設の稼働を予定している平成38年度までに、燃やせるごみの量を10,700tまで減らすことを目標にごみの減量に取り組むこととしています。

現在、ごみ処理を外部に委託していますが、皆さんには、より一層のごみの減量、資源化にご協力いただくことで、経費を削減することができます。

その削減した経費で、産業振興や子育て支援、福祉サービスの充実など、市の発展へつなげることができるのです。



ごみの分け方について勉強してみませんか?

環境学習会

区・自治会や職場、学校などで、ごみの分別方法や減量についての学習会を開催しませんか?

シルバー人材センターやエコライフ推進協議会の会員が講師となり、ごみの分け方やプラボットの分別方法についての出前講座を実施しています。

皆さんにわかりやすくお伝えできるように、実物を見ていただきながら、分別について説明させていただきます。

お申し込みや詳しい内容は、お問い合わせください。



高島市シルバー人材センター
理事長 川添宏司さん



市ではごみ減量について、市民の皆さんのご協力のもと取り組んでいます。高島市シルバー人材センターでは、そのお手伝いをさせていただこうと平成28・29年の2年にわたりプラスチックボトル(通称プラボット)の分別について環境学習会を実施してきました。

区長・自治会長さん、役員の方々に、お世話になり、出前講座としてお邪魔し、多くの市民の皆さんに環境学習会にご参加いただきました。

学習会にあたっては、「難しい話では?」、「邪魔くさい取り組みでは?」などと心配された向きもありましたが、プラボットの現物で、「ちいさなマーク・文字」を見ていただき、説明を聞かないと理解できなかったと賛同をいただきました。おかげさまで順調な分別、収集が行われています。今後も引き続きご協力をお願いしたいと思います。

ごみの分別に迷ったら



ごみの分別や出し方をパソコンやスマートフォンで検索できる「高島市ごみ分別辞典WEBサイト」を開設しています。

「カーペット」や「扇風機」など捨てたいものをサイト内のキーワード検索欄に入力して簡単に検索できます。ごみの分別や出し方に迷った時にはご利用ください。

「高島市ごみ分別辞典」で検索するか、次の二次元コードからサイトへアクセスできます。

ごみの分別・出し方を簡単検索 高島市ごみ分別辞典



家庭用生ごみ処理機購入を補助します!

市では各家庭での生ごみの資源化、減量化を推進するため、皆さんが生ごみ処理機などを購入される場合の購入費の一部を助成しています。ごみの減量、リサイクルの推進のため、ぜひご利用ください。※購入後1か月以内に申請していただく必要があります。

【補助率】 3分の2以内

【補助対象】

- ・電動式生ごみ処理機購入 (40,000円限度)
- ・コンポスト購入 (7,500円限度)
- ・コンポスト用基材購入 (3,000円限度)

詳しくは、市のホームページでご確認いただくか、お問い合わせください。



NEW LINEスタンプの販売を開始します!



ごみの減量を身近な問題として感じていただくことを目的に、ごみ減量キャラクター「スリムヤン」のLINEスタンプの販売を開始します。

図案の検討やイラストの作成などすべて職員の手作りで作成しました。

ごみ減量だけでなく、高島の方言を交えた高島ならではのスタンプになっています。

5月30日(水)からLINEアプリ内のスタンプショップで購入できます。

販売価格は50コイン(120円相当)です。ぜひご家族やお友達とご利用ください。

※イラストは販売時に変更になる場合があります。